



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月4日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東  
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桑 弘嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481  
 兼 IR室長  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月4日 配当支払開始予定日 2021年10月19日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年2月21日～2021年8月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	133,002	△5.1	2,470	△41.4	2,610	△39.9	1,448	△39.2
2021年2月期第2四半期	140,102	7.3	4,217	470.4	4,341	385.4	2,384	871.2

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 1,529百万円(△36.2%) 2021年2月期第2四半期 2,396百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	33.04	33.03
2021年2月期第2四半期	54.39	54.37

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	135,461	78,710	57.9
2021年2月期	137,863	77,747	56.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 78,438百万円 2021年2月期 77,475百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2022年2月期	—	13.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年2月21日～2022年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△3.3	4,800	△38.8	5,100	△36.4	2,000	△47.2	45.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期2Q	45,237,297株	2021年2月期	45,237,297株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2022年2月期2Q	1,386,509株	2021年2月期	1,400,405株
------------	------------	----------	------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期2Q	43,844,475株	2021年2月期2Q	43,834,220株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年2月21日～2021年8月20日)におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響により厳しい状況が継続いたしました。ワクチン接種が進み一時的な回復があったものの、感染症拡大の長期化の影響が大きく、一部の地域においては断続的な緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用され、企業収益の減少や雇用情勢の悪化など、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、店舗における感染症拡大防止策の実施や内食需要の高まりへの対応が求められ、消費者の節約志向は根強く、業種業態を越えた顧客の獲得競争も厳しさを増しており、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下において、新しい経営体制のもと、年度スローガンを『一人ひとりの意識改革と行動力で社会環境の変化と多様化するお客様ニーズに対応していこう』とし、刻々と変化する社会環境とお客様ニーズへの対応、食の安全安心、豊かな生活をお客様にお届けできることを基本姿勢とし、アフターコロナの時代を見据えた変化するライフスタイルに対応できる商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。また、各店舗においては、引き続き感染症予防策を徹底し、従業員の安全確保とお客様の信頼にお応えするべく、営業体制・サービスの提供に努めてまいりました。

当期の新規出店につきましては「田辺東山店」(和歌山県田辺市)を3月に、「パレマルシェ神宮前店」(愛知県名古屋市)を7月にオープンいたしました。また、既存店舗の活性化につきましては「パビリオンシティ田辺店」(和歌山県田辺市)、「かつらぎ店」(和歌山県伊都郡かつらぎ町)を4月に、「久居庄田店」(三重県津市)を6月に、「みなべ店」(和歌山県日高郡みなべ町)、「白浜堅田店」(和歌山県西牟婁郡白浜町)を7月にそれぞれ改装いたしました。一方、経営効率化のため、6月に「パレマルシェ神宮店」(愛知県名古屋市)、8月に「プライスカット永井店」(奈良県奈良市)を閉店いたしました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツ及び農産物等の加工・配送を担う㈱サンライズは、巣ごもり需要の反動もあり、減収減益となりました。一方、外食の㈱オークフーズは、外食需要の一部回復により、増収増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、前期における巣ごもり需要の反動減により、営業収益(売上高及び営業収入)は1,330億2百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は24億70百万円(前年同期比41.4%減)、経常利益は26億10百万円(前年同期比39.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億48百万円(前年同期比39.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億2百万円減少し、1,354億61百万円となりました。流動資産では11億56百万円の減少であり、これは主に現金及び預金が16億80百万円減少したことによるものであります。固定資産では12億46百万円の減少であり、これは主に有形固定資産の建物及び構築物(純額)が7億53百万円増加した一方、有形固定資産の土地が8億8百万円、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が9億62百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ33億65百万円減少し、567億50百万円となりました。流動負債では9億59百万円の減少であり、これは主に支払手形及び買掛金が15億2百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が4億60百万円、未払法人税等が3億72百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が11億55百万円、設備関係電子記録債務が4億78百万円減少したことによるものであります。固定負債では24億6百万円の減少であり、これは主に長期借入金18億15百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億63百万円増加し、787億10百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億78百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2021年4月5日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,593	16,913
受取手形及び売掛金	5,465	5,881
商品及び製品	9,319	9,251
その他	2,172	2,347
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	35,549	34,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,659	48,413
土地	30,012	29,203
その他(純額)	7,882	6,837
有形固定資産合計	85,554	84,455
無形固定資産		
その他	3,909	3,841
無形固定資産合計	3,909	3,841
投資その他の資産		
その他	12,862	12,783
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	12,850	12,771
固定資産合計	102,314	101,067
資産合計	137,863	135,461
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,804	15,307
短期借入金	4,660	4,660
1年内返済予定の長期借入金	4,317	3,857
未払法人税等	1,419	1,047
ポイント引当金	1,462	1,586
その他	15,730	13,977
流動負債合計	41,395	40,436
固定負債		
長期借入金	10,459	8,644
退職給付に係る負債	77	76
資産除去債務	3,043	3,089
その他	5,139	4,504
固定負債合計	18,720	16,314
負債合計	60,116	56,750

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,017	15,015
利益剰余金	50,273	51,151
自己株式	△1,674	△1,657
株主資本合計	77,733	78,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	95
退職給付に係る調整累計額	△309	△283
その他の包括利益累計額合計	△258	△188
新株予約権	51	45
非支配株主持分	220	226
純資産合計	77,747	78,710
負債純資産合計	137,863	135,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年2月21日 至2021年8月20日)
売上高	134,801	127,769
売上原価	97,501	92,713
売上総利益	37,300	35,056
営業収入		
不動産賃貸収入	1,547	1,544
その他の営業収入	3,752	3,688
営業収入合計	5,300	5,232
営業総利益	42,600	40,289
販売費及び一般管理費	38,383	37,818
営業利益	4,217	2,470
営業外収益		
持分法による投資利益	17	20
リサイクル材売却収入	35	32
受取配当金	34	35
その他	101	92
営業外収益合計	189	180
営業外費用		
支払利息	41	32
その他	23	8
営業外費用合計	64	41
経常利益	4,341	2,610
特別利益		
固定資産売却益	5	0
補助金収入	36	8
特別利益合計	42	8
特別損失		
固定資産除却損	55	266
減損損失	435	34
賃貸借契約解約損	232	32
その他	0	0
特別損失合計	724	333
税金等調整前四半期純利益	3,659	2,285
法人税等	1,250	826
四半期純利益	2,408	1,459
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,384	1,448

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年2月21日 至2021年8月20日)
四半期純利益	2,408	1,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	44
退職給付に係る調整額	23	25
その他の包括利益合計	△12	70
四半期包括利益	2,396	1,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,371	1,518
非支配株主に係る四半期包括利益	24	10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。